

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	白石町立白石小学校
1 前年度 評価結果の概要	①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の成果が上がっており、学力向上と関連させて取り組みを継続させたい。 ②配慮を要する児童に対して、より適切な指導を行うために、特別支援教育に関する教職員の資質向上をいっそう図る必要がある。
2 学校教育目標	豊かな心と健やかな体で、いきいきと学ぶ子どもを育成する。
3 本年度の重点目標	① 学指導要領が求める「育成すべき資質・能力」を育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けた授業改善を図る。 ② 特別支援教育における教職員の資質・能力について、「児童理解」「交流及び共同学習」「校内外との連携・協働」を観点として向上を図る。

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	●教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。		・		・		・
	○校内研究の充実	○「自分の考えを書いたり、話したりすることができる」と答えた児童80%以上 ○授業の振り返りの観点を理解して、振り返りを行うことができた児童が80%以上	・深い学びにつながる対話的な学びになるように、児童が考えを表現し合う場面を工夫する。 ・「ノート名人」「ふりかえり名人」の観点について全職員で共通理解し、指導に当たる。		・		・		・
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童・保護者80%以上	・ふれあい道徳を実施し、全クラス授業を公開する。 ・授業後、ワークシートに感想や振り返りを書かせ、学級便り等で保護者へ知らせる。		・		・		・
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	●いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上 ○いじめ等の対応や指導を適切に行っていると答える保護者が80%以上	・毎月「心のカード」を実施する。 ・人権集会(教室)を計画的に実施する。 ・学級経営案に沿って、学期ごとにPDCAを行う。 ・気になる児童については、「支援相談委員会」で共通理解し、対応策について協議する。(月に1回・緊急時は、適宜)		・		・		・
	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	◎将来の夢や目標に向かってがんばっていると答えた5・6年生児童80%以上 ◎佐賀県(白石町)の良いところを知っていると答えた4～6年生児童(1～3年生児童)80%以上	・地域の郷土学習資料や県教委作成の資料等を活用した授業に取り組む。 ・出前授業等を活用し、専門家の話を伺うことができる場を設定する。		・		・		・
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	●規律正しい生活(睡眠・運動・食事など)を送ることができた児童80%以上	・9月、1月にはなまますこやかチェックを実施する。保護者とも連携し、生活の改善につなげる。 ・歯科校医、在宅歯科衛生士と連携し、歯科教室(ブラッシング指導等)を実施する。		・		・		・
	○運動習慣の改善と体力づくり	○週に3日以上は、休み時間に外で遊んだりスポーツをしたりした児童が80%以上 ○外遊びを奨励し、児童の体力向上に心がけた教員90%以上	・委員会活動の中で、外遊びや体力づくりについて企画し、放送等で紹介する。 ・持久走週間・長縄跳び月間などに全校で取り組む。		・		・		・
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。(1か月:45時間 1年間:360時間)	・学級事務の時間確保のために週時程を工夫する。 ・校務サーバーのフォルダを再構築し、効率的なデータ管理を行う。 ・町内一斉及び校内の定時退勤日を遵守する。		・		・		・

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○特別支援教育	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育の専門性が向上した教員が80%以上	・特別支援教育に関する研修会を実施する。 ・校内支援委員会(ケース会議)を実施する。 ・「支援相談委員会」において情報を共有する		・		・		・
○地域連携	○学校、家庭、地域が協働した取り組みの推進	○「あいさつ・家庭学習・手伝い・自力登校」ができていると答えた保護者が80%以上 ○体験活動が充実していたと答えた児童が80%以上	・毎月1日に、メール配信により、啓発を図る。 ・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を通して、地域の人材を生かした体験学習を計画する。		・		・		・
○読書活動	○読書活動の充実	○年間読書100冊に達した児童が90%以上	・多読賞や読書マスターの紹介・表彰、「規定の冊数ごとに花を咲かせる掲示」を継続する。 ・図書館便りなどで学校での読書活動について具体的な実践を知らせる。		・		・		・

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------